

日本最高レベルの技とスピード ホッケー男子日本リーグ奥出雲町で開催

高円宮杯ホッケー男子日本リーグの公式戦第七節が六月十七、十八日の両日、新装された三成公園人工芝ホッケー場で開催されました。
セルリオ島根は、日本リーグの中で、唯一地元出身者のみで参戦しているチームで、昨年の日本リーグでは五位と健闘しました。
初のホームゲームとなるセルリオ島根は、小矢部RED OX（富山県）、天理大学



▶ 敵陣へ攻め込むセルリオ島根

（奈良県）と対戦しました。
十七日の小矢部戦は、前半に二点を先制されますが、後半に猛反撃し、後半六分、九分に連続ゴールし同点に追いつくと、十二分には加納選手が見事なリバースシュートを決め逆転に成功しました。



▲ 駆けつけた多くのサポーター。熱い声援を送りました

国際大会での健闘を祈る

ホッケーユース日本代表 国際大会出場激励式



▲ ユース代表に選ばれた左から岩田君、小櫻さん、加藤さん

り続けました。
試合後、選手からは「地元の方からの大声援は本当に心強かった」、「こんなに多くの人の前でプレーさせてもらい、とてもうれしかった。勝利をプレゼントできなくて残念」など感謝の言葉が、観客からは「地元選手の雄姿、日本最高レベルの技とスピードを見るのがで感動しました」、「本当にカッコいい。自分もホッケーをしているので将来は日本リーグに出てみたい」などの感想が聞かれました。

ホッケーユースの日本代表選手に横田高校から三名が選出され七月四日、役場横田庁舎において出場激励式が行われました。
今回選ばれたのは、ディフエンダーの岩田卓也君、小櫻千奈美さんとフォワードの加藤彰子さんです。
男子はオーストラリアのシドニーで女子は岐阜県でそれぞれ開催される国際ユース大会に出場します。
激励式では選手の紹介が行われ、岩田町長からは激励金

が贈呈され、「高校日本代表選手が三名も選ばれたことは、町の誇りに思います。国際舞台で代表選手として活躍してほしい」と激励の言葉がありました。
出場する選手の皆さんからは、「日の丸を付けて戦えることは、非常に光栄。郷土の皆様への期待に応えられるようがんばりたい」と大会へ向けての力強い挨拶がありました。
三名の国際大会での活躍を期待します。

横田大市街づくり委員会 まちづくり月間国土交通大臣表彰を受賞

横田大市街づくり委員会では、平成7年から16年までの10年間にわたり、地区内の公園や水路、道路等の美装化、沿道の一般家屋の修景事業等を地域住民の手により整備方針の検討、事業の調査研究を積極的に行い、地区内の街なみ環境整備において主体的な役割を果たされました。

またこの活動に伴い、地域住民の結束が固まり、地区の活性化にも大きく寄与されました。
これらの功績により、国土交通大臣から平成18年度のまちづくり月間功労者表彰を受賞されました。



子供たちを犯罪から守ろう 青色パトロール隊出発式



▲ 実施者証の交付を受ける藤原会長

最近、子供たちが被害者になる犯罪が多発しており、子供たちの安全確保が全国的な問題になっています。
こうした犯罪被害から子供を守るべく、「青色パトロール仁多こども見守り隊」が仁多地域で結成され六月二十二日、三成小学校で出発式が行われました。

この青色パトロールは、雲南警察署管内で初めて認可を受けたパトロール隊で、隊員八人で青色の回転灯を装着した車で地域内を防犯パトロールし、犯罪の防止、安心・安全な町づくりを目指します。



社会を明るくする運動 青少年非行防止メッセージ伝達式

「社会を明るくする運動」法務大臣メッセージ並びに青少年非行防止メッセージの伝達式が7月3日に行われ、仁多郡保護司会会長の若槻俊彦さん、小川雲南警察署長からそれぞれ岩田町長に伝達されました。

このメッセージは、7月が「社会を明るくする運動」の強調月間となっており、犯罪や非行の防止、青少年の健全育成等をそれぞれの立場で進め、明るい社会を作っていこうと毎年行われています。

今年も多くの方々のご理解とご協力を頂き、声かけ活動、不審者に対するパトロールの強化等地域ぐるみの活動が行われます。

式には山下助役、パトロール隊員、三成小学校の全児童、三成幼稚園、保育所の園児等が出席し、雲南警察署長からパトロール隊に実施者証が交付されました。

藤原幸治隊長からは「安心、安全な町づくりを目指し、隊員一同、一生懸命活動していきたい。皆さんは安心して通学や遊びに行ってください」と決意表明がありました。

式後には、隊員が青色パトロール車に乗り込み、早速町内を巡回しました。



▲ 玉串を捧げ、山の安全を祈る山下助役

吾妻山で山開き安全祈願祭
六月十七日、国定公園「吾妻山」の山開き安全祈願祭が同じ吾妻山に接し交流のある庄原市比和町からの来賓、地元関係者等約七十人の参列のもと行われ、今年の山の安全を祈願しました。
吾妻山は、毎年多くの登山客や小学校の教育キャンプ等で活気のある夏山となっていますが、昨年は麓に「つりぼり吾妻山」が完成し、より幅広い年代の方々が訪れています。
今年も奥出雲の豊かな自然と癒しを求めて、多くの登山客や観光客で賑わうものと期待されます。